

浜コ三協だより

令和元年度
(平成31年度)
第16号

●「浜コ三協」は「浜浦小学校区コミュニティ協議会」の略称です。●この広報誌は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

コミュニティ協議会の 行うことは



会長 田村 良三

コミュニティ協議会は、市民と市とが協働で地域のまちづくりや諸問題に取り組むために、主に小学校区を単位に町内会や自治会、地域で活躍する各種団体等で組織されました。しかし、残念ながら認知度は低い状態が続いていました。

そこで理事会では原点に立ち返ってコミュニティ協議会の目的を再度確認しあい、まず第一に取り組む課題は「安心・安全な地域づくり」を指すこととなりました。

そのための具体的な行動としては「防犯カメラの設置」や「見守りたいの再編成」「安心・安全マップの更新」「警察組織との連携」などを行ってききました。

その後は、防災を意識した「安全な地域づくり」や介護保険制度を基本とした「ゆとりある、支え合う地域づくり」、学校との連携やスポーツ活動を介した「活気のある地域づくり」なども目指してまいります。

十月の台風や豪雨被害においては、「自助」とともに地域で助け合う「共助」が重要であることが報道されていきました。当地域においても、住民各位が「地域で何ができるか」を考え、気楽に参加できるコミュニティ協議会としたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

中央区自治協議会出席報告



副会長 塩野 健一郎

区自治協議会は、市民と市が協働して地域のまちづくりその他の地域の課題に取り組む、住民自治の推進を図る事を目的としています。平成十九年政令市移行と同時に各区に設置されたものです。委員は区長が推薦し、市長が選任します。任期は二年で中央区は三十八名で構成しています。任事は「区自治協議会全体会議」への出席と「部会」への所属・参加です。

全体会議は月一回行われ、内容は(一)市や区からの諮問に答えること(二)市や区からの事業計画に対して意見を述べること(三)地域課題等の解決に向けて、委員同士で意見交換や情報交換を行う等等です。「部会」の役割は(一)区が企画立案し実施する「区役所企画事業」において、区が行うヒアリングを通して、情報提供や助言を行う(二)全体会議からの負託事項の審議を行い、また自発的に地域課題を探り審議・検討を行うことです。

「部会」は第一部会から第四部会まであり、私が所属する第一部会の担当分野は(一)商店街、産業(二)まちなか回遊、交流人口です。月一回会議を行い現在七回目です。具体的なテーマは「古町・本町商店街の活性化」に決まりました。テーマを具体化するために、アンケートを実施し、集計・分析結果を商店街に来春提案する予定です。

目次

・会長挨拶 / 副会長報告「中央区自治協議会出席報告」	P1	・部会並びに協力団体報告	P5
・事業計画・実績・収支予算・組織表	P2	浜浦地区社会福祉協議会 / 文化スポーツ部会	
・第11回合同演奏会報告	P3	・協力団体紹介	P6・7
浜コ三協 / 浜浦シンフォニー / 関屋中学校吹奏楽部		中央区役所地域課 / 浜浦小学校 /	
・部会並びに協力団体報告	P4	関屋地区公民館 / 防災・防犯・防火部会	
環境整備部会 / 福祉教育学部		・浜浦小学校育成会	P8
		・浜コ三協取り組み方針(第1回) / 編集後記	P8

第11回 合同演奏会報告

お褒めのアンケートを沢山頂きました。顧問の鳥谷先生、上野先生のご指導に感謝申し上げます。合わせて長きに渡る中央区地域課のご理解とご厚意に深く感謝申し上げます。



全員での合唱風景

芸術の秋に相応しい恒例の第11回浜コ協合同演奏会が令和元年九月十六日日本歯科大講堂で開催されました。おりしも敬老の日にあたりお孫さんの成長を一目見ようとお爺ちゃんお婆ちゃん、保護者の皆様、スタッフ総勢四百三十六名が日本歯科大講堂に集まり地域の皆様と共に充実した一日を過ごし、出来ました。今年には日本歯科大の参加が叶わず常連の五十嵐教授のアルトサククス、桑原先生のエレクトーンが聴かれないうと心配な面はありましたが、心配をよそに子供達の一生懸命さに心を打たれた方々が多かったと思えます。特に浜浦シンフォニーはドラえもん、オープニングやキーラ等馴染みの選曲もあり、加えてお孫さん達の成長に目を細めておられ、関屋中は市内でも屈指の吹奏楽部だけあってどの曲も迫力満点で、加えて楽器の説明もユーモアを交えたトークでお兄さんお姉さんらしさが演出され素晴らしいとの評価とお褒めのアンケートを沢山頂きました。

地域の絆を継続

文化・スポーツ部会
会長 中静 浩一

みんなと楽しく演奏できた最後のステージ！

浜浦シンフォニー器楽部
部長 井海 奏

私たち浜浦シンフォニーは、一年生から六年生までの25名で活動しています。今年には『ひまわりクラブの皆さんを招待した演奏会』や『小学校はまなす祭での演奏会』など、初めての挑戦が多くありました。

この浜コ協合同演奏会は、毎年恒例の秋のコンサートです。「ドラえもん」「ニューシネマパラダイス」など全六曲を演奏しました。週二回という限られた練習時間でしたが、暑かった夏休みもみんなで音楽室に集まり沢山の練習してきました。当日は、一人ひとりの呼吸と先生との指揮がしっかりと合い、全員が練習の成果を出し楽しく演奏することができました。

いよいよ1月には、新潟県ジュニア音楽合奏大会があります。浜コ協合同演奏会で感じた充実感を味わえるようなステージにしたいと思います。

最後に今年も浜コ協合同演奏会に参加できありがとうございました。来年も楽しく演奏できるように、これからも練習を頑張ります。



浜浦シンフォニーの合奏風景

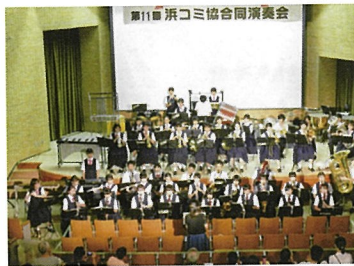
吹奏楽と共に過ごした日々

関屋中学校 吹奏楽部
部長 品田 多恵

先日は演奏会にお招きいただき、ありがとうございました。私たちにとってこの演奏会は、地域の方々に関屋中学校吹奏楽部の演奏を聴いていただく貴重な機会です。また、私にとっては、部長として活動する最後の演奏会でした。今年の三年生は、個性が強く、楽器や曲に一人一人が向き合い、常に努力する三年生でした。そんな仲間と過ごす部活動生活は、楽器を演奏する楽しさを分かち合い、個々の想いをぶつけ合い、くだらないことでも笑い合う、充実した毎日でした。

今年の演奏会のプログラムは、三年生にとつて思い出深い曲ばかりでした。〈マーチ・シャイニングロード〉は、私たちが当時一年生だったころの吹奏楽コンクール課題曲、〈マーチ・ワンダフルヴォヤージュ〉は当時二年生だったころの課題曲、そして〈虹は碧き山々へ〉は今年の自由曲という、私たちがコンクールで演奏した曲が詰まったプログラムでした。私たちがコンクールに注いだ情熱は伝わったでしょうか。

これからも私たちの活動と成長を温かく見守ってください。ありがとうございます。ありがとうございました。



関屋中学校吹奏楽部による演奏風景

事業計画・実績、収支予算、組織表

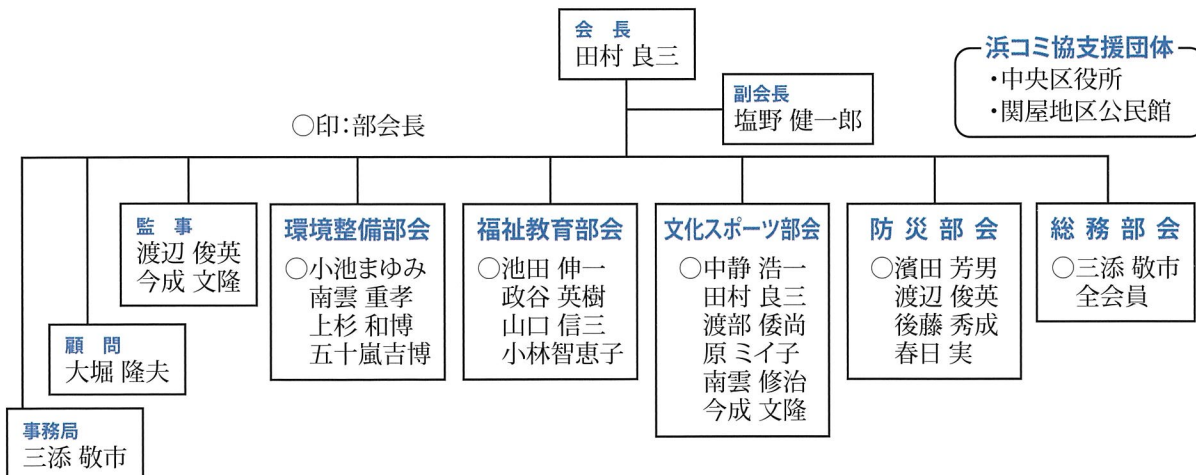
1. 令和元年度(平成31年度)事業計画

部会	事業計画	実績
環境・整備部会 部会長 小池まゆみ	地域の自然環境整備・清掃 1.「子供の松林」整備(草刈り)と活用 2.関屋浜・森清掃(浜小青育協と協働) 3.協働の森づくり事業	4ページに実績を示します。
福祉・教育部会 部会長 池田伸一	事業支援(助成金) 1.「赤ちゃんお誕生おめでとう」 2.「浜小見守りたい」への助成 3.「浜小教育コーディネーター」への助成 4.「お寺でゴーン」助成	5・8ページに実績を示します。
文化・スポーツ部会 部会長 中静浩一	1.合同演奏会開催(第11回) 2.シティマラソンボランティア募集 3.フロアカーリング大会開催(第9回)	
防災部会(防犯・防火) 部会長 濱田芳男	1.防犯連合会総会出席、防火連合総会出席 2.防火連合会地区長会議出席 3.安心安全まちづくり県民大会出席 4.防火グッズ用品申し込みと配布	
総務部会 部会長 三添敬市	1.定例会開催 2.総会開催 3.広報誌発行(第16号)	

2. 令和元年度(平成31年度)収支予算

項目		予算	
収入	市助成金	1,090,000	
	自己資金	会費	160,000
		古紙収集支援金	130,000
		その他	137,010
		繰越金	959,043
小計	1,386,053		
収入合計		2,476,053	
支出	市助成金	合同演奏会	270,000
		広報誌	220,000
		フロアカーリング	190,000
		運営費	410,000
		小計	1,090,000
	自己資金	文化スポーツ部会	20,000
		福祉教育部会	42,000
		防災部会	10,200
		総務部会	95,000
		手当費(役員手当)	135,000
共通	80,000		
小計	382,200		
支出合計		1,472,200	
繰越金		1,003,853	

3. 令和元年度(平成31年)組織図



4. 活動報告



海岸清掃



見守りたい



親子ふれあい運動会

部会並びに協力団体報告 — その2



うたごえミニライブ

秋晴れの、令和元年11月10日関屋地区公民館において、地区民生委員児童委員との共催で「ちいきのつどい」笑って、歌って、楽しんで「を行いました。当日は天候にも恵まれ、多くの方々と第一部、包括支援センターによる介護の話。GENKI体操で身体をほぐし。第二部は、信濃町喫茶どん底のマスターによる「うたごえとミニライブ」として、懐かしのメロディーを皆で歌って、楽しかった一日を過ごすことが出来ました。

浜浦地区社会福祉協議会
会長 山口 信三

第7回 「ちいきのつどい」を行いました。

環境・整備部会

区民協働の森づくり “松の苗の植樹”

開催予定日の10月5日・12日ともに台風のため中止となり、14日(体育の日)にようやく開催されました。何度も変更となり小雨だったのにもかかわらず、関屋中学校の3年生45名をはじめ、地域の方など100名以上の方々が参加してくださいました。シャベルで穴を掘り、肥料と一緒に苗を植えて倒れないように足でキックキックと踏み固め900本のクロ松の苗木の植樹を終えました。ありがとうございました。



部会長
小池 まゆみ

子どもの松林整備

令和元年の今年は「関屋の松林ありがとう」と題して5月11日(土)に行いました。ガールスカウト・ボーイスカウト(第9団)一般の方々48名が参加して、雪の重みや冬の嵐で折れてしまった枝を拾い、木の根元の枯草をのぞき、日が当たるように整備をしました。

子どもの松林は、森づくり事業で初年度に植樹をしたと面に面しています。日が直接当たらず風通しも良いので、夏でも活動しやすい場所です。整備以降は、ガールスカウトが毎年恒例でテナの設営訓練で活用しています。



福祉・教育部会

「地域包括ケアシステム研修会に参加して」

10月23日(水)浜コミ協福祉・教育部会の研修会を関屋地区公民館で30分と限られた時間でしたが、講師の中央区社会福祉協議会の渡辺隆幸さんから「地域包括ケアシステムと各自治会の役割について」少子高齢化時代における地域での支え合いのしくみづくりを実践している自治会など、大変分かりやすく教えて頂きました。中央区が新潟市の中で一番1人暮らしの方が多くなっていること。また中央区の中で、浜浦地区は1人暮らしの高齢者世帯が約2割に なっていることも分かりました。浜浦地区の自治会でも、ごみ出しが大変、1日誰とも話さなかった、食事づくりが大変だから今日もコンビニの弁当で済ますことになった、などの声を聞くことが多くなっています。こうした生活が続けば認知症やがん、糖尿病などになりやすくなると言われていきます。誰もが年を重ねると体力、気力も少しづつ衰えますが、お互いに助け合い、支え合うことができれば、まだまだ自分らしく、地域で暮らし続けることができるはず。高齢化の課題を他人ごとではなく自分事として考える事。明日は我が身と考え、今できることを考え続ける事。いきなり、全部を始めることは難しいが、まずは自分の地域を見つめ、課題や地域の宝を話し合うことから始める事。そして一歩ずつ、できることから考え進めて行くことが大切だということがわかりました。浜コミ協の自治会でもすでに取り組んでいる自治会もあるかと思いき、お互いに話し合っって良い取り組みを増やしていきたい、少しでも住みやすい暮らしやすい浜浦地域を作っていきたいと思いました。

部会長
池田 伸一



文化・スポーツ部会

正しいラジオ体操の指導

市内全小学校のスポーツ振興会の義務行事とはいえ当浜小でも毎年夏休み前に五年生、六年生を指導するようになり三十年になります。今回は当コミ協の田村会長もスポーツ推進委員として指導に汗を流しました。指導点は「五、六年生は積極的に前に出る事、肩からの腕伸ばしてラジオに負けない大きな声を上げる事、体側時の肘は曲げない事、」を中心に指導しております。年々上手くなって流石伝統の浜浦魂が培われているようです。

部会長
中静 浩一

フロアカーリング大会

技の考案者である中央区本町に在住の北川様ご夫妻も指導審判で参加、市協会の伏見会長様他役員の皆様にも厚く御礼申し上げます。



フロアカーリング大会

トリットボール大会

十月十九日、浜小グラウンドで表記大会を開催しました。保護者を含む一般参加二十八名、児童三十五名、スポーツ振興会役員、協会役員十二名計六十五名で②ホールのパ③コースを二ラウンド回り薄曇りの日でありましたがグラウンドに歓声が上がりました。なんとホールインワンが子供達にも出て大人顔負けのプレーが続出!!大会役員さんの配慮で全員が入賞品を頂きました。本競



トリットボール大会

シティマラソン・ボランティア参加

第37回新潟シティマラソンは、大会史上初めて台風のため中止となりました。



ラジオ体操講習会

部会並びに協力団体報告 — その3

防災・防犯・防火部会

部会長 濱田 芳男

警戒レベル4で全員避難
災害は突然起こります。有事の際は最新の情報を確認し身の安全を第一に（自分の命は自分で守る）行動して下さい。

警戒レベル5 災害発生情報	既に災害が発生、命を守るため最善の行動を取る
警戒レベル4 避難指示緊急または避難勧告	全員避難、避難所への移動が危険な場合近隣の安全な場所へ
警戒レベル3 避難準備	高齢者、乳幼児など避難に時間がかかる人とその支援者は避難所への準備を
警戒レベル2 洪水注意報、大雨注意報など	ハザードマップなどで避難行動を確認
警戒レベル1 早期注意情報	災害への心構えを高める

警戒レベル3～5は市が発令

1～2は気象庁が発令

運転免許の自主返納

運転免許の自主返納と「運転経歴証明書」の手続き方法等

- 1、受付窓口：運転免許センターや警察署
- 2、自主返納に必要なもの：運転免許証
- 3、運転経歴証明書の交付に必要なもの：一、手数料（県収入証紙1100円分）二、自主返納との同時申請でない場合には証明写真や本人確認書類

（住所・氏名・生年月日を確認できるもの）も必要

- 4、「運転経歴証明書」の交付は運転免許返納後5年以内であれば申請できます。公的な本人確認書類としても利用可能で有効期限なし。
- 5、申請者が手続きに行けない事情がある場合、家族など代理人による申請も可能です。

オレオレ詐欺が増えて来た

○県内で急増 1～9月 特殊詐欺被害 1100件 1億9,058万円 62件

そのうちオレオレ詐欺 9,928万円

前年比+37件 5,910万円

○だましの手段「固定電話」から

息子など親族を語る手口（会社のカネ使い込み）

警察官や銀行職員を語る手口（カードなくした）

- 1、電話の相手をすぐ信じない
- 2、電話でおカネの話が出たら詐欺を疑う
- 3、録音機能付き電話に切り替える

創立八十五周年を迎えた浜浦小学校

浜浦小学校 校長 政谷 英樹

当校は、昭和十年に開校し今年度創立八十五周年を迎えました。地域や卒業生、旧同人職員は、当校への愛着や関心は深く、誇りをもっています。今年度当初の児童数は、四百十二名です。

「よく考え、進んでやりぬく、明るく、心の子ども」を教育目標として、知、徳、体バランスのとれた教育活動を行っています。学習面では、学習課題に対して興味を示し、進んで自分の考えを述べたり、自ら試したりするなど、学ぶ意欲の高い子どもが多く見られます。高い学力水準の維持・向上と質の高い教育活動を進めています。

徳育面では、明るく積極的で、自ら進んで友達と触れ合うなど社交性に富んでいます。異学年が交流する縦割りグループを通して、互いに思いやる姿が見られるようになってきています。

体育・健康面では、体育の授業をはじめ、休憩時間に体育館やグラウンドで積極的に運動遊びをしています。めあてをもって自主的に運動に親しんでいる子どもの姿も見られます。

さらに、どの子どもも生き生きと学校生活を送れるように、ユニバーサルな視点を取り入れた授業づくりや環境づくりを目指しています。また、地域とともに歩む学校づくりを目指し、コミュニティ協議会をはじめとする多くの支援組織が活発に活動し、学校を支えていただいています。子どもふれあいスクール「浜浦ともだちひろば」では、学校の職員がかかわることの難しい放課後などに子どもたちが活動する場を整えてくださっています。「はまうら見守りたい」の皆さんは、街頭に立ち子どもたちの登下校を温かく見守り交通安全指導をしてくださっています。



部会並びに協力団体報告 — その4

地域活動の応援窓口です

中央区役所地域課 小出 亮介

中央区役所地域課は、企画、地域振興、広報・文化スポーツの三つのグループと、産業振興室、万代市民会館からなる部署です。扱っている業務は多岐に渡りますが、いずれも地域の皆様との協働は欠かせません。日頃から密に対話させていただき、地域課題を共有することを大切にしていきます。

今年度、当課が特色ある区づくり事業として取り組んでいる事業をいくつかご紹介いたします。

一つ目に「地域主体の人口減少に関する取組推進事業」です。モデルとして選定した地域のコミュニティ協議会や関係団体を対象に、地域力ルテを活用したワークショップを試行的に実施し、人口減少・高齢化に対応した自主的な取組みにつなげてもらうための土台作りを進めています。十月には

中央区の「しもまち」地域において、豊照体育館とアイアップし、「豊照体育館周年祭マルシェ」を開催



大盛況のマルシェ

今後とも安心してすこやかに暮らせるまちの実現を目指すとともに、区の魅力再発見していただけるよう益々取り組んでまいります。

「公民館に来てください」

関屋地区公民館 館長 樋山 光仁

いつも、関屋地区公民館をご利用頂き、ありがとうございます。今回「浜コミ協だより」に紙面を頂きましたので、当公民館のPRをさせていただきます。

関屋地区公民館は地域の皆様だれもが利用できる施設です。一番広いホール（定員百二十人）から小さな保育室（定員二十人）までの八室（調理実習室を含む）と、個人で利用できるフリースペースがあります。

今日は、当館主催で私がお勧めの講座を紹介させていただきます。

最初は、「初級登山教室」です。成人の皆様を対象に、当館の利用団体の山の協力を得て開催しています。地図の読み方から始まり、コンパスを使って自分の位置確認の仕方、実地登山を体



験するなどしています。本格的に登山を始めたいという方に、もってこいの講座です。

続いて、小学生の子どもさんが対象の「わくわくランド」です。この講座は「いろんな体験をしてみよう、他の学校のお友達もできるよ」を合言葉に、一、六年生の異年齢で活動を行います。地域や学生ボランティアの皆さんの協力のもと、大学生との交流会・遊びの体験・お菓子づくりやデイキャンプなど様々なメニューを毎年考えています。



両講座とも、現在は令和二年度の開催に向けて準備中ですが、いかがでしょうか。この他にも、楽しい講座が盛りだくさんです。皆様のご来館をお待ちしています。

部会並びに協力団体報告 — その5

浜浦小学校育成会の紹介

浜浦小学校育成会
副会長 小林 智恵子

浜浦小学校に入学された全児童の保護者と教職員によるPTA組織、それが私たち浜浦小学校育成会です。

- ・ 三役や専門委員会があり、活動内容は、
- ・ 学年親睦会や学年親子行事の企画運営
- ・ はまなす祭の企画運営
- ・ 登下校時交通指導や安全教室
- ・ お父さんクラブ学校ボラントリーア
- ・ 体操着リサイクル
- ・ 他校との研修会への参加や情報交換
- ・ など、さまざまです。

令和元年度のはまなす祭では、浜浦コミュニティ協会の皆様のお力をお借りして、ミニ防災教室を行うことができました。大変ありがとうございました。

時代の流れやニーズに合わせて、育成会活動の内容や関わり方など、変化していく面もありますが、未来を担う子どもたちが安心して安全な学校生活を過ごす



めに、保護者と教職員と地域の方々と、みんなで手を取り合つて協力していきたいという思いは変わりません。

子どもたちと一緒に楽しみながら、育成会も成長していきたいと思えます。今後とも、地域の皆様にはご支援ご協力をお願い申し上げます。

浜コミ協取り組み方針 第二回

安全な街づくり

福祉・教育部会長
池田 伸一

- 昨年度は、浜コミ協として今後どのような活動をしていくべきか浜コミ協の会員である各自治会などの代表者から意見を聞きみんなで検討しました。浜コミ協の今後の活動については、
- 1 安全な地域づくり（防犯 関連）
 - 2 安全な地域づくり（防災 関連）
 - 3 安心で健康な地域づくり（介護・健康維持）
 - 4 地域の活性化に向けて（自治会とコミ協の体制）（学校と地域のパートナーシップ）
 - 5 明るい地域づくり（環境美化など）この5つの課題について9月定例会で話し合い、今年度は1番

の安全な地域づくり（防犯 関連）を進めるため、防犯カメラの設置について検討することになりました。防犯カメラ設置の補助金を担当している中央区総務課青田主幹から説明に来てもらい「防犯カメラ設置の目的は犯罪のない安心・安全なまちづくりのため。きっかけは小針小学校の女子児童殺害事件ですが、子供達の安心・安全に限定しないで、広く地域全体の犯罪抑止や交通事故防止のために防犯カメラを設置し活用してほしい」とのことでした。今後、各自治会の代表者に防犯カメラ設置についてのアンケートを実施して具体的に設置に向けて検討し、浜コミ協の地域全体がより安全で住みやすい地域になるよう頑張っていきたいと考えています。今後とも地域の皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

編集後記

塩野 健一郎

本紙の編集方針は、市から補助金を受けている「協働推進事業」の報告を伝え、かつ新しい内容を盛り込もうとするものです。

令和に入り、初めての「浜コミ協だより十六号」が完成しました。原稿依頼を受けた方々には、大変御協力を頂きました。また、総務部長の三添様のお力添えも頂きました。皆様に厚く御礼申し上げます。

紙面のマンネリ化を防ぐため編集会議を開き、編集委員の方々と意見交換をし紙面の刷新に努めました。今回は、第十一回合同演奏会、部門報告、協力団体紹介を中心に構成しました。今後も浜コミ協の二大事業である「浜コミ協合同演奏会」及び「地域の自然環境整備清掃事業」等の紹介を工夫しつつ、お伝えしていこうと思えます。

日差しが春めいてきました。新たな気持ちで、新年度を迎えたいものです。